



校長室だより

武生第五中学校 校長室

令和8年2月 5日 (木)

第16号



不易流行というけれど・・・長文で失礼いたします。

少し前の話、配付されたプリントで指を少し切った生徒がいました。紙で指が切れるんだ・・・このときの生徒たちの中にはそれを知らなかった子もいました。「不易流行（ふえきりゅうこう）」という言葉を目にすることがあります。AIに聞いてみると、俳諧の理念として松尾芭蕉が説いた考え方で、変わらない本質（不易）を大切にしながら、時代に応じて新しいもの（流行）も取り入れていくべきだという意味らしいです。

最近あちらこちらで耳にするフレーズの一つです。とても素晴らしい言葉です。しかし、とらえ方を間違えると、都合の良い言葉にもなりえてしまう場合もあるようです。例えば、子どもたちの学習方法などは、紙媒体に加えデジタル化されたものが登場し、時代とともに効率も環境も向上していると感じます。そんな中でも、紙に触らなくなった、本に触らなくなった、本さえもデジタル化され、本屋や図書館に行かなくても手に入るなど、今や指を切るところか、指紋がなくなるのではないかと懸念されるくらいです。

ただ、ここで考えたのは、学習環境や方法が進化し、変貌を遂げても、「読み・書き・そろばん」は変わらず存在し、基本中の基本であり続けていることです。五中では、個別最適化された学びの場を考え、整備する一方で、変わらない本質を見失わないように、生徒たちを見守りながら育てていきたいと考えておりますが、世の中ではどうなのかなど考えさせられました。ここは「AI」ではなく、チーム五中で最適解を出したいところです。

創造アイデアロボットコンテスト全国中学生大会（1.31）

先月末にロボコンの全国大会が行われ、五中としては2年連続の出場ということもあり、大変注目度が高い出来事となりました。チーム「ヤーマンポテト」も3年生の受験期でありながらも、時間をうまく使い準備をして臨んだ大会でした。1勝1敗で決勝トーナメントには進出できませんでしたが、何かに一生懸命になれる時間が非常に尊い経験となったことでしょう。ヤーマンの挑戦はひと段落ですが、ここから新しい挑戦が始まるに違いありません。楽しませていただきました。感謝です。



第3回 しらやま家庭地域学校協議会開催される（2.3）

2月3日の夜、五中にて第3回目の地域とのコミュニティー会議が行われました。おもに、小中学校の学校評価の報告と7年度の振り返りでしたが、意見交換の話題として「デジタル教材」や「子どもたちのSNS利用」「これからの学校環境」について活発な意見交換が繰り広げられました。有意義な時間を過ごせ、次年度以降に向けての土台作りができそうです。よりよい白山地区の活性化や子どもたちの教育環境づくりに反映させていただきたいと思っております。

